



第28回
日本新生児看護学会学術集会
ランチオンセミナー4のご案内

後期早産児を産んだ母親の心のケア

～NICU・GCUに入院した児を持つ母親へのインタビューを通じて～

座長

加部 一彦先生 (埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター 新生児部門 教授)

演者

橋本 洋子先生 (山王教育研究所 臨床心理士/
日本周産期精神保健研究会 副理事長)

第1部

インタビューから見た後期早産児の母親が抱く想い

(ビジョンにっこり授乳期研究会より報告)

第2部

後期早産児の母親の心のケアを考える

橋本洋子先生
からの
メッセージ

NICU・GCUに入って仕事をする周産期心理士として、私は後期早産児の母親ともなるべく早期にお会いすることを心がけていました。保育器の前にたたく母親に「おめでとうございます。・・・赤ちゃんを連れていかれてお辛かったですか？」とそっと声をかけると、多くの母親がポロポロと大粒の涙をこぼされました。今回のインタビュー結果は、そんな母親の気持ちについて、貴重なエビデンスを提供してくれるものと思います。周産期心理士としての経験と絡めながらインタビューの結果を読み解くことで、後期早産児と母親への心のケアのさらなる充実、ほんの少しでも寄与できればと考えています。

〈日時〉 2018年 11月24日[±] 12:00~13:00

〈会場〉 第2会場 シェーンバツハ・サボー(砂防会館)1階「木曾」
東京都千代田区平河町2-7-4